

令和2年度 第1回鯖江市行政評価委員会 会議録（要旨）

日時：令和2年11月30日（月）

19：00～21：10

会場：市役所4階全員協議会室

出席者：井上委員、上坂委員、奥田委員、岸本委員、千葉委員

鯖江市：生涯学習・スポーツ課 齋藤課長、廣重参事、川端主査

長寿福祉課 長崎課長、野坂参事

事務局：めがねのまちさばえ戦略課 服部課長、小谷主任、太田主事

1 開会（19：00～19：10）

1. 委員紹介…事務局より紹介
2. 正副委員長選出…事務局一任により、委員長に井上委員、副委員長に奥田委員を選出
3. 外部評価実施手順…事務局説明
4. 外部評価対象事業抽出…事務局説明、委員了承

2 外部評価実施

① つつじマラソン開催事業（所管：生涯学習・スポーツ課）

（19：10～20：00）

<概要説明>（齋藤課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

委員長：開催日は美浜町の五木マラソンと毎年重なっているのか。

所管課：毎年重なっています。

委員長：来年度の開催イメージを他自治体の状況も含めて教えてほしい。

所管課：どの自治体でもコロナ対策が一番のネックとなっており、本市としても、受付業務や補助員ができる限り対人接触を避けられる方法を検討している段階であり詳細は未だ申し上げられません。

委員長：5月開催は他の自治体より早い時期なため、様子見する時間が短く大変だと思う。

委員：調書では助成金が400万円、決算書では320万円と記載があるが正しいのはどちらなのか。

所管課：調書ではR2年度見込み額として400万円と記載しておるが、R1年度の決算額で補助対象経費となった部分で実際の助成額は320万円であるため、500万円の事業費に対して320万円の助成金というのが最終的な数字です。

- 委員：来年度開催するならコロナ対策費用もかかる関係で予算増額するのか。
- 所管課：事業費 500 万円を超えて予算要求するべきではないと思っており、予算範囲内でコロナ対策等行って実施したいと考えています。
- 委員：参加者負担金の損益分岐点について、何人が基準なのか。
- 所管課：例年の参加者約 3,000 人が 2,000 人になると参加者負担金が 500 円上がる想定をしています。
- 委員：参加人数によって参加負担金を変えるのか。
- 所管課：参加者が何人でも事業を実施すべきなのかという議論になるため、参加負担金は変えない予定です。今後、参加者数を見込みながら検討していきます。
- 委員：大変難しい問題かと思いますが、今年度イベントが全く無く、子供達も楽しいことが無かったと思うため是非開催していただきたい。
- 委員：来年度開催するかどうかは、いつ・どこが決定するのか。
- 所管課：前年度を例に挙げますと、3 月中に教育委員会で検討し決定後に実行委員会へ報告しています。ただし、現時点では来年度方向性を「維持」としているため、コロナ対策を講じて開催する予定ですが、コロナ感染状況がより深刻になった際には協議する必要があります。
- 委員長：調書では、行政が実施すべき事業であり住民ニーズも高い事業であるため、中止して終わりにするのではなく、事業目的にある、「市民の健康増進」に繋がる代替策を打ち出していきたい。先が読めない状況だからこそ、開催・中止の選択肢だけでなく、代替策を模索していただきたい。
- 所管課：マラソン大会をリモートで実施している自治体の情報もあり、内部で検討はしています。仮に中止しても次の開催時に参加していただけるよう熱いメッセージが送れる方法を模索しています。
- 委員長：鯖江市は IT のまちであり、それを引っ張ってくれる市民の方もいるため、そういった方の知恵を活用していただきたい。
- 委員：タイムカードによる個別マラソン形式の提案ですが、特定の期間で同じ区間を各自が走り、記録した紙を提出してもらい、市が表彰する等のバックアップを検討していただきたい。
- 所管課：実際に活用している自治体の情報も聞いているため、代替策として検討させていただきます。
- 委員：（例年実施しているマラソン大会では）スタートする場所は全員同じなのか。
- 所管課：同じ場所で、種目毎に 5 分刻みでスタートします。

<方向性判断>

- 委員長：特に異論がなければ、内部評価同様、「維持」で良いか。（委員一致）
付帯意見として
- ・コロナ禍に対応して開催できるよう様々な工夫を凝らしていただきたい。

- ・コロナ禍による経費の増額が予想されるため、予算不足を理由に開催中止とならないよう、参加者負担金の見直し案を排除せずに協議していただきたい。
- ・開催時期が5月であるため、開催中止となった場合の代替策を年度末までに準備し、ITの活用を含めて別の手段で事業目的が達成できるよう努めていただきたい。
- ・市民の関心が高い事業であるため、事業を開催するのかどうかについて、オープンに議論していただき、結果はできる限り速やかに公表していただきたい。

2 外部評価実施

① いきいき講座事業（所管：長寿福祉課）

(20:05～20:50)

<概要説明>（長崎課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

- 委員：カラオケ設備を使った体操が好評とのことだが、具体的にどのような内容なのか。
- 所管課：介護予防プログラムに沿って、映像を見ながら懐メロのワンフレーズが除かれた歌詞を見ながら歌ったり、曲に合わせた踊りやクイズ形式の脳トレを行っています。
- 委員：既に町内で行われているカラオケクラブとの差別化はできているのか。また、参加者の固定化やカラオケクラブとの連携についてどのように考えているのか。
- 所管課：町内のカラオケクラブは歌うことを目的としていますが、本事業は介護予防を目的としており、単に歌詞が表示されたりしないため差別化できていると思います。また、カラオケクラブに参加する人にも本事業をご案内させていただき、新規参加者を募りたいと思います。
- 委員：今年度はコロナの影響で参加者が減少したと思うが、希望者が減ったことが原因なのか。
- 所管課：コロナ影響前は自由参加型でしたが、以降は利用定員を設けて実施したことが参加者数の減少に繋がっています。昨年度は、2月と3月で計23回の講座を中止としたため、影響人数は約500人と見込んでいます。
- 委員：今年度は参加者を絞ったとのことだが、それにより講座に来られなかった人で介護予防が必要な人の掘り起こしはどのようにしているのか。
- 所管課：今年度は、昨年度に参加した人へ案内を送付しました。気がかりな人や返事がない人には、個別に電話対応やアンケートによるフォローアップを行いました。
- 委員：身内の話だが、市の職員に対しては気丈に振る舞うが、実は落ち込んでいるという人は事業に参加しないと思うため、電話やアンケート以外にも掘り起こしに力を入れていただきたい。
- 所管課：委員のご指摘のとおり、電話やアンケートで症状が全て分かる訳では無いため、家

族の方も含め、気になる人が身の回りにいる時には、各地区に設置しているサブセンターや市にご相談いただきたいと思います。

委員長： 自宅でできる介護予防プログラムを実践している人は成果指標に含まれているのか。

所管課： 含まれていません。

委員長： 事業を実施している人であるため、成果実績に含めていただきたい。ただし、自宅で実践する人とコミュニケーションをとることは難しいと思うが、そこはどのように考えているのか。

所管課： 実践する人には、高齢者セルフケアチェックシートを渡して自己点検をしていただいています。職員が直接コミュニケーションをとっている訳では無いので、ご家族とコミュニケーションをとっていただき、気がかりなことがありましたらご相談いただきたいと思います。

委員長： LINEを活用したコミュニケーションをとる等の検討をしたことはありますか。

所管課： ありません。

委員： 来年度も今年度同様に利用定員を設定する予定なのか。

所管課： そのように考えています。できる限り利用定員が増えるよう検討を進めていますが、広い部屋が2階にある公民館においては、参加者が介護予防を必要とする高齢者ということもあり、自力で2階に上がるのが困難であり、踏み切れないのが実情です。

委員： 本事業の対象者を教えてほしい。また、参加者が固定化しないよう努めていただきたい。

所管課： 対象者は65歳以上で公民館まで来られる人です。それが難しい人は町内のサロンや老人クラブに参加していただいています。また、参加者が固定化しないよう参加者にはお友達も誘っていただくように声掛けをします。

委員長： 湯ったりクラブとの統合は検討しているのか。また、事業にしっかりと向き合い、前向きに改善していると思うため、次年度の方向性を「事務改善」として良いのではないか。

所管課： 湯ったりクラブは、運転できる人がラポーゼかわだや神明苑に来て、運動後に入浴して帰る事業のため、車が運転できない人もいる本事業とは統合できないと考えています。方向性においては委員会の意見を尊重します。

<方向性判断>

委員長： 次年度方向性において、前向きに改善していこうとする姿勢が見受けられるため、「事務改善」にすべきではないかと思うがどうか。(委員一致)

付帯意見として

- ・類似事業があるため、事業内容やターゲット、効果を整理し、本事業の位置付けを明確にさせていただくとともに、他事業と連携を図るなど、新しい方向性を模索してマンネリ化を防いでいただきたい。
- ・利用定員を設定したことで参加者が減少しているため、参加できない人のフォロー

ーアップをこれまで以上に努めていただきたい。

- ・自宅で本事業に取り組んでいる人も成果実績であるため、成果指標に含めていただきたい。

<その他意見>

委員長：今年度から調書様式に修正があり、各課が歳入歳出を詳細に入力することで、財政状況に対する意識付けが図られている。また、前年度の事業実績や今年度の取組内容、事業の課題や次年度の変更点を明確に分かるようにしており、評価し易くなるように心掛けている。その一方で、評価項目の①必要性と②事務改善の可否基準において、①は点数が高い方が良いが、②は低い方が良くて直感的に判断しづらいため、点数に応じたランクを表示させる等の改善を求めます。それから、新たに方向性項目の中に「隔年開催」を追加しているが、次年度から実践するのは1事業のみであり、市の財政状況を鑑みて、本当に「隔年開催」できない事業なのかを今一度、各担当課には検討していただきたい。

3 閉会 (20 : 50～20 : 55)

委員長：次回開催は、12月7日(月)19時から市役所4階全員協議会室。